

世界自閉症啓発デー in 横浜 2022



毎年4月2日は「世界自閉症啓発デー」
4月2日～8日は「発達障害啓発週間」

「世界自閉症啓発デー」は、世界各国で自閉症をはじめとする発達障害への理解を深めることを目的に、平成19年12月に国連が制定しました。

日本では、厚生労働省が「発達障害啓発週間」を定め、自閉症をはじめとする発達障害について普及啓発を実施しています。横浜市でもこの取組を推進するため、関連イベントを実施します。

LIGHT IT UP BLUE2022 — 横浜を青く照らす —

「癒し・希望・平穏」を表し、自閉症啓発デーのシンボルカラーである、ブルーの光で市内の観光スポットなどをライトアップします。



【日時】令和4年4月2日（土）～4月8日（金）
※会場ごとに点灯時間は異なります。

- 【場所】
- 女神橋（西区みなとみらい1-1）
 - よこはまコスモワールド
大観覧車「コスモクロック21」（中区新港2-8-1）
 - 横浜ハンマーヘッド（中区新港2-14-1）
 - 象の鼻パーク（中区海岸通1）
 - 横浜税関（中区海岸通1-1）
 - 神奈川県庁本庁舎（中区日本大通1）
 - 日産スタジアム（港北区小机町3300）（※4月2日のみ）

「#世界自閉症啓発デー」
でシェアしよう♡

市立図書館パネル展 ～みんなで知ろう発達障害～

市内の図書館において通常は分野ごとに配架している発達障害に関する書籍の中から、皆さんにご紹介したい本を集めて展示・貸出を行います。

発達障害の理解に役立つパネル展示もあわせて、ご覧ください。

【日程及び会場】

- 令和4年3月15日（火）～ 3月28日（月）
泉図書館 2階（泉区和泉町6207-5）
- 令和4年3月29日（火）～ 4月11日（月）
中央図書館 4階（西区老松町1）
- 令和4年3月30日（水）～ 4月11日（月）
緑図書館 1階（緑区十日市場町825-1）



「世界自閉症啓発デー in 横浜 2022」に合わせたイベントのご紹介

ブルーフラッグの展示

世界自閉症啓発デーのシンボルカラーである青色の画用紙を使って市内5箇所の地域療育センター（※）に通う子どもたちが素敵な作品を作成しました。全650枚の作品を使って作ったフラッグを各会場で展示します。

（※地域療育センター…0歳から小学校期までの障害児の療育に関する相談・診療・指導等を行う施設）



【日程及び会場】

- 令和4年3月24日（木）～ 4月13日（水）
戸塚区役所 3階ロビー（戸塚区戸塚町16-17）
 - 令和4年3月25日（金）～ 4月11日（月）
泉区役所 1階ロビー（泉区和泉中央北5-1-1）
 - 令和4年3月30日（水）～ 4月9日（土）
横浜市役所 1階 展示スペースB（中区本町6-50-10）
- ※各日程の初日は準備作業、最終日は撤収作業を行います

【共催】（社福）横浜市リハビリテーション事業団
（一社）横浜市自閉症協会

横浜DeNAベイスターズ選手等似顔絵展

（株）横浜DeNAベイスターズの協力を得て、ベイスターズ選手等の似顔絵展を開催します。作品は横浜市内在住の障害のある皆さんに、自分のお気に入りの選手等を描いていただきました。全35点の個性豊かな作品をどうぞご覧ください。

【日程及び会場】

- 令和4年3月11日（金）～ 3月22日（火）
障害者スポーツ文化センター横浜ラポール
（港北区鳥山町1752）
- 令和4年3月24日（木）～ 4月13日（水）
戸塚区役所 3階ロビー（戸塚区戸塚町16-17）

【共催】（社福）横浜市リハビリテーション事業団
（一社）横浜市自閉症協会

【協力】（株）横浜DeNAベイスターズ



＼自閉症のこと、もっと知ってほしい／ 「知ろうわかって！自閉症の特性」

自閉症の方の様々な行動やこだわり。
どうしてこういった行動をするのかな？
自閉症の方の特性を理解するヒントを知ることができる、
（一社）横浜市自閉症協会のホームページをご覧ください！

ひとりごとを言いながら
動き回っている。
どうしてかな？



横浜市自閉症協会 世界自閉症啓発デー

